

絵本になった！ 『窓ぎわのトットちゃん』展

展示会期 2015年3月1日(日)～5月24日(日)

主催：ちひろ美術館

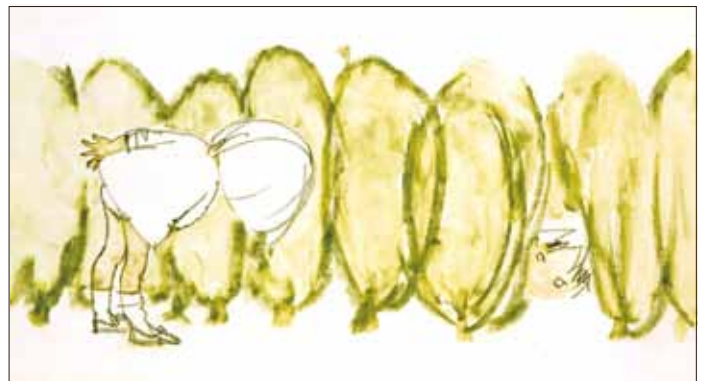
『窓ぎわのトットちゃん』は、トットちゃんが小学校1年生で学校を退学になるところから始まる、黒柳徹子(当館館長)の自伝的物語です。新しい学校・トモエ学園は、電車を教室に使ったり、授業はそれぞれが好きな科目から勉強したりと、なにもかかがユニークな学校でした。男の子女の子も、障害のある子も、「みんな一緒だよ」といい続けた校長先生のもと、トットちゃんや友だちは情操豊かにたくましく育っていきました。戦後最高のベストセラー(累計796万部)となったこの『窓ぎわのトットちゃん』が、絵本になりました。本展では、絵本に収録されたちひろの作品を、戦争の時代にあっても夢を失わずにたくましく生きたトットちゃんたちのエピソードとともに展示します。終戦70年の今年、ちひろと黒柳徹子に共通する子どものしあわせと平和への願いを、トットちゃんの物語を通して見つめなおします。



1 こげ茶色の帽子の少女 1970年代前半



2 バラと少女 1966年



3 垣根ごしにのぞく子ども 1970年



4 猫とランドセルをしょった子ども 1969年



5 並んでお弁当を食べている子どもたち 1966年



6 算数の問題を考えている女の子 1969年

ちひろの絵が“トットちゃん”になったわけ

『窓ぎわのトットちゃん』はちひろの没後に書かれたお話ですが、黒柳徹子は「いつも子供の味方、子供の幸福を願っていた、ちひろさんの絵を、このトモエの本を書くときに使わせていただきたい」ということが夢だったといえます。1979年に「若い女性」への連載がスタートしたときには、黒柳が毎月ちひろ美術館に通って絵を選びました。「あまり私の文章と、ちひろさんの絵が合っているために、『亡くなる前に、少し描いていらしたの?』とお思いのかたも、いらしたのです。つまり、それくらい、ちひろさんは、いろいろな子供、子供らしい子供を、お描きになっていたのでしょう。」と黒柳は語っています。



『絵本 窓ぎわのトットちゃん』
1・2巻セット 発売中

文:黒柳徹子
絵:いわさきちひろ
講談社
定価:本体3,000円(税別)分売不可



公益財団法人いわさきちひろ記念事業団
ちひろ美術館・東京

<http://www.chihiro.jp/>

TEL.03-3995-0772(業務用)
お問い合わせは、広報担当:原島・松本まで

企画展

セント 聖コージスキンの誘惑展

2015年3月1日～5月24日

主催：ちひろ美術館 協力：姫路市立美術館、Bluejay、イーストプレス、架空社、講談社、集英社、ビリケン出版、福音館書店、平凡社、保育社、未知谷 後援：絵本学会、こどもの本WAVE、(公社)全国学校図書館協議会、(一社)日本国際児童図書評議会、日本児童図書出版協会、(公社)日本図書館協会、杉並区教育委員会、中野区、西東京市教育委員会、練馬区



FINGOTTO BENZA 2012年



獣BENZA 2012年

絵本『エンソくん きしゃにのる』、『サルビルサ』、『ブラッキンダー』などで知られる画家・スズキコージ（愛称 コージスキン）。「絵本作家になりたいと思ったことはない。気づいたらなっていた」と語る画家が世に送り出した絵本は200冊超。奇想天外な発想、ダイナミックな描写、独特の極彩色で描き出される作品は、見るものを一瞬で魅了します。

本展では、デビュー作『ゆきむすめ』から新作に至るまで、各年代を代表する絵本原画を展示するとともに、“ライブペインティング”から生まれた巨大な作品（約2×5m）、遊び心あふれる立体作品、画家監修による再現アトリエなどを紹介し、スズキコージのエネルギーを全開します。

新旧の代表的な絵本原画を多数展示

絵本作家としてのデビュー作『ゆきむすめ』、出版以来高い人気を誇る『サルビルサ』、日本絵本賞大賞（2008年）を受賞した『ブラッキンダー』など、絵本画家スズキコージを語る上では欠かせない絵本原画の数々を紹介します。



7 やまのディスコティック 2013年



8 『ゆきむすめ』（世界文化社/ビリケン出版）より 1971年



9 『サルビルサ』（ほるぶ出版/架空社）より 1991年

●主な出展作品（約100点）

○絵本原画

『エンソくん きしゃにのる』（福音館書店）より 1986年

『サルビルサ』（ほるぶ出版/架空社）より 1991年

『ほね・ホネ・がいこつ!』（保育社）より 2013年 他

○ライブペインティング作品

「サルビルサ 2014」（仮）2014年

スズキコージ Koji Suzuki

1948年、静岡県に生まれる。物心がついたころから絵を描き始めて現在に至る。1968年、新宿歌舞伎町の路上にて初個展。1971年、個展「コージスキンの世界」を開催。1972年、最初の絵本『ゆきむすめ』を発表。絵本、ポスター、壁画、舞台美術など幅広く活躍する。1987年、『エンソくん きしゃにのる』で小学館絵画賞、1989年、『やまのディスコ』で絵本にっぽん賞、2004年、『おぼけドライブ』で講談社出版文化賞、2008年、『ブラッキンダー』で日本絵本賞大賞などを受賞。



10 『ブラッキンダー』（イースト・プレス）より 2008年



公益財団法人いわさきちひろ記念事業団

ちひろ美術館・東京

<http://www.chihiro.jp/>

TEL.03-3995-0772（業務用）

お問い合わせは、広報担当：原島・松本まで

11 再現アトリエ「コージズキンの巣」アトリエ

ライブペインティング作品 大集合

スズキコージは1995年以降、即興で描く“ライブペインティング”を行っています。筆だけでなく、手や指を使ってダイナミックに描いた巨大な作品（約2×5m）は圧巻！これまでに描いたライブペインティング作品の数々を展示します。

コージズキン監修

“絵を描きたくなるアトリエ”を再現！

世界の民芸品や、ダンボールにペイントした仮面などが置かれ、絵筆やアクリル絵の具が散乱する……、画家監修のもと「絵を描きたくなるアトリエ」が再現されます。



「サルビルサ 2014」(仮) 制作映像を公開

23年のときを経て、絵本『サルビルサ』の世界がライブペインティング作品「サルビルサ 2014」(仮)として生まれかわります。完成した作品を初公開するとともに、2014年に安曇野ちひろ美術館での展示期間中に行われた制作の記録映像を公開します。



12 展示風景 *写真はすべて安曇野ちひろ美術館での展示より

ど迫力の 顔抜きパネル！

スズキコージ作品といっしょに撮影しませんか？
お写真を photo@chihiro.or.jp までお送りください。
ブログ・facebookにてご紹介します。



13 聖なる冷暖房 2014年



* 詳細は、ちひろ美術館ホームページでご案内します。イベント参加費の他、別途入館料が必要です(高校生以下は入館料無料)。 定員、参加費が記載されていないものは、参加自由、無料です。

聖コージスキンの誘惑展 関連イベント

●対談 スズキコージ×松本猛

スズキコージのエネルギーの源泉とは?その素顔と作品の魅力に迫ります。
※イベントにお申し込みの方にかぎり、14:00～15:00の間、展示をご覧ください。
※プレスの方には別途レセプションのご案内を差し上げます。

2/28 (土) 15:00～16:30

講師：スズキコージ(画家)・松本猛(絵本学会会長・ちひろ美術館常任顧問)
定員：80名 参加費：700円(入館料別) *要申し込み 1/20(火)受付開始

●松本猛ギャラリートーク

母・ちひろとの思い出や展示のみどころなどをお話します。

3/8(日) 14:00～

講師：松本猛(絵本学会会長・ちひろ美術館常任顧問)

●ギャラリートーク

毎月第1・3土曜日 14:00～

●えほんのじかん

協力：NCBN(ねりま子どもと本ネットワーク)

毎月第2・4土曜日 11:00～

絵本になった!『窓ぎわのトットちゃん』展 関連イベント

●ちひろ美術館で読書会『窓ぎわのトットちゃん』

ちひろゆかりの絵本や書籍の感想を分かち合いませんか。
今回の課題図書は『窓ぎわのトットちゃん』。単行本や文庫版だけでなく、絵本版も大歓迎です。
好きな本を読み、携えてご参加ください。

4/26(日) 15:00～16:30 定員：10名 *要申し込み 3/26(木)受付開始

●ガーデントーク

ちひろの庭の花めぐり

「ちひろの庭」や展示室で、ちひろが愛した草花などのエピソードを紹介します。

3/29(日) 14:00～14:30



●ちひろの水彩技法ワークショップ にじみのキーホルダー

ちひろが得意とした水彩技法の「にじみ」を使って、オリジナルのキーホルダーをつくりまします。



3/15(日) 10:30～

対象：5歳～大人 定員：先着100名 参加費：300円
*当日申し込み 受付開始10:00～(最終受付15:00)

●わらべうたあそび

声を出して歌ったり、体を動かしたりしながら、親子で楽しく参加できます。

4/4(土) 11:00～11:40

講師：服部雅子(西東京市もぐらの会代表、はとさん文庫主宰)
対象：0～2歳までの乳幼児と保護者
定員：15組30名
*要申し込み 3/4(水)受付開始

●おもちゃの広場

4/12(日) 10:30～12:00

定員：10組20名
対象：3歳以上の未就学児とその保護者
協力：おもちゃの広場 石神井支部
*要申し込み
3/12(木)受付開始

●ママさん弁護士と歓談 子どもの未来と憲法

一児の母である武井弁護士と、親しみやすい雰囲気なかで、改憲の動きや、特定秘密保護法についてなど、子どもの未来に関わる憲法の動向について語り合います。

4/19(日) 10:30～12:00

講師：武井由起子
(横浜弁護士会、明日の自由を守る若手弁護士の会所属)
定員：60名 参加費：500円
*要申し込み 3/19(木)受付開始



2016年夏、長野県松川村の安曇野ちひろ公園に、トットちゃんの広場がオープンします。

2014年秋にはトットちゃんの電車の教室もやってきました!
詳細はFacebook(安曇野ちひろ公園・トットちゃんの広場
<https://www.facebook.com/chihiro.totto>)をご覧ください。

<次回展示予告>

2015年5月27日(水)～8月2日(日)

ちひろの本棚

<企画展>没後10年「長新太の脳内地図」展

- 展示会期…2015年3月1日(日)～5月24日(日)
- 開館時間…10:00～17:00(入館は閉館の30分前まで)
- 休館日…月曜日(祝休日は開館、翌平日休館。GW期間は無休。)
- 入館料…大人800円/高校生以下無料
グループ(有料入館者10名以上)、65歳以上の方、学生証をお持ちの方は100円引/障害者手帳ご提示の方は半額、介添えの方は1名まで無料/視覚障害のある方は無料/年間パスポート2500円
- 交通…
○西武新宿線上井草駅下車徒歩7分
○JR中央線荻窪駅より西武バス石神井公園駅行き(荻14)上井草駅入口下車徒歩5分
○西武池袋線石神井公園駅より西武バス荻窪駅行き(荻14)上井草駅入口下車徒歩5分
○駐車場あり(乗用車3台・身障者用1台)



公益財団法人いわさきちひろ記念事業団
ちひろ美術館・東京

<http://www.chihiro.jp/>

お問い合わせは、広報担当：原島・松本まで

〒177-0042 東京都練馬区下石神井4-7-2 テレホンガイド 03-3995-3001 03-3995-0612(代表) FAX 03-3995-0680